令和８年度

国庫補助道路メンテナンス事業小横川橋補修工事

町道７号線

辰野町　小横川橋

数量計算書

辰野町役場

数量総括表

橋　名　：　小横川橋

	工種・種別					単位	数量	備考
床版下面	補修	ひび割れ注入工	ひび割れ延長		ひび割れ幅　0.2mm＜W＜1.0mm	m	8.5	
			注入材		エポキシ樹脂系　比重γ=1.1	kg	0.4	ロス率 15%含む
			シール材		エポキシ樹脂系　比重γ=1.7	kg	1.2	ロス率 37%含む
			低圧注入器		300mm間隔	本	29	
		断面修復工	下地処理		打継用プライマー	m2	4.5	
			断面修復工		ポリマーセメントモルタル	m3	0.09	左官工法
			殻運搬処理工		殻運搬・処分	m3	0.09	W　=　0.216　t
桁	補修	塗替え塗装（Rc-Ⅰ）	外面	清掃・水洗い		m2	80.38	
				素地調整	1種ケレン	m2	80.38	桁：主桁、横桁
				防食下地	有機ジンクリッチペイント	m2	80.38	
				下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗（2回）	m2	80.38	
				中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	m2	80.38	
				上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	m2	80.38	
排水装置	補修	排水装置工	排水管撤去工		鋼管	m	3	
			排水管設置工		ステンレス管	m	4	
下部工	A1橋台補修	ひび割れ注入工	ひび割れ延長		ひび割れ幅　0.3mm＜W＜1.0mm	m	5.0	
			注入材		エポキシ樹脂系　比重γ＝1.1	kg	1.2	ロス率 15%含む
			シール材		エポキシ樹脂系　比重γ＝1.7	kg	0.7	ロス率 37%含む
			低圧注入器		300mm間隔	本	17	
		ひび割れ充填工	ひび割れ延長		ひび割れ幅　1.0mm≦W	m	7.0	
			充填材		エポキシ樹脂系　比重γ＝1.27	kg	1.1	
			殻運搬処理工		殻運搬・処分	m3	0.0007	W　=　0.002　t
		断面修復工	下地処理		打継用プライマー	m2	2.0	
			断面修復材		ポリマーセメントモルタル	m3	0.087	左官工法
			殻運搬・処分		無筋コンクリート	m3	0.09	W　=　0.205　t
	A2橋台補修	ひび割れ注入工	ひび割れ延長		ひび割れ幅　0.3mm＜W＜1.0mm	m	5.8	
			注入材		エポキシ樹脂系　比重γ＝1.1	kg	0.7	ロス率 15%含む
			シール材		エポキシ樹脂系　比重γ＝1.7	kg	0.8	ロス率 37%含む
			低圧注入器		300mm間隔	本	20	
		ひび割れ充填工	ひび割れ延長		ひび割れ幅　1.0mm≦W	m	8.6	
			充填材		エポキシ樹脂系　比重γ＝1.27	kg	1.3	
			殻運搬処理工		殻運搬・処分	m3	0.0009	W　=　0.002　t
		断面修復工	下地処理		打継用プライマー	m2	0.5	
			断面修復材		ポリマーセメントモルタル	m3	0.012	左官工法
			殻運搬・処分		無筋コンクリート	m3	0.01	W　=　0.028　t
仮設	仮設工	仮締切工	大型どのう		設置・撤去	袋	17.0	
			仮排水管		設置・撤去	m	48.0	
			掘削		掘削補助機械搬入搬出	m3	24.1	
		補修用足場	足場工		平坦足場	m2	86.2	
			ブラスト用養生シート			m2	86.2	
			塗装用養生シート		シート張防護・床面・両側朝顔	m2	86.2	

工　種　・　種　別				単位	数量	備　　考
ひび割れ注入工	延長	床版下面	ひび割れ幅　0.2mm＜W＜1.0mm	m	8.5	
		A1橋台	ひび割れ幅　0.3mm＜W＜1.0mm	m	5.0	
		A2橋台	ひび割れ幅　0.3mm＜W＜1.0mm	m	5.8	
		合計		m	19.3	
	注入材	床版下面	エポキシ樹脂系　比重γ=1.1	kg	0.4	ロス率 15%含む
		A1橋台	エポキシ樹脂系　比重γ=1.1	kg	1.2	ロス率 15%含む
		A2橋台	エポキシ樹脂系　比重γ=1.1	kg	0.7	ロス率 15%含む
		合計		kg	2.3	
	シール材	床版下面	エポキシ樹脂系　比重γ＝1.7	kg	1.2	ロス率 37%含む
		A1橋台	エポキシ樹脂系　比重γ＝1.7	kg	0.7	ロス率 37%含む
		A2橋台	エポキシ樹脂系　比重γ＝1.7	kg	0.8	ロス率 37%含む
		合計		kg	2.7	
	低圧注入器	床版下面	300mm間隔	本	29	
		A1橋台	300mm間隔	本	17	
		A2橋台	300mm間隔	本	20	
		合計		本	66	
ひび割れ充填工	延長	A1橋台	ひび割れ幅　1.0mm≦W	m	7.0	
		A2橋台	ひび割れ幅　1.0mm≦W	m	8.6	
		合計		m	15.6	
	充填材	A1橋台	エポキシ樹脂系　比重γ＝1.27	kg	1.1	
		A2橋台	エポキシ樹脂系　比重γ＝1.27	kg	1.3	
		合計		kg	2.4	
断面修復工	防錆あり	床版下面		m3	0.0810	
		A1橋台		m3	0.0871	
		A2橋台		m3	0.0120	
		合計		m3	0.1801	
	防錆なし	床版下面		m3	0.011	
		A1橋台		m3	--	
		A2橋台		m3	--	
		合計		m3	0.011	
殻運搬処理工	断面修復工	床版下面	無筋コンクリート	m3	0.0920	
		A1橋台	無筋コンクリート	m3	0.0871	
		A2橋台	無筋コンクリート	m3	0.0120	
		合計		m3	0.1911	W　=　0.4　t

床版補修

（1）ひび割れ補修工－低圧注入工

ａ）集計表

補修位置	番号	壁厚	ひび割れ幅(mm)		ひび割れ	注入深さ	注入体積
		(mm)	範囲	中間値	延長(m)	(mm)	(m3)
床版01	C1	170	Y	0.6	0.3	85	0.000015
				小計	**0.3**		**0.000015**
床版02	C2	170	Y	0.6	0.2	85	0.000010
	C3	170	Y	0.6	0.3	85	0.000015
	C4	170	Y	0.6	0.2	85	0.000010
	C5	170	Y	0.6	0.2	85	0.000010
	C6	－	0.5	0.5	0.85	100	0.000043
	C7	－	0.3	0.3	1.05	60	0.000019
	C8	－	0.2	0.2	1.1	40	0.000009
	C9	－	0.3	0.3	0.8	60	0.000014
	C10	－	0.25	0.25	0.25	50	0.000003
	C11	170	Y	0.6	0.25	85	0.000013
	C12	170	Y	0.6	0.25	85	0.000013
	C13	170	Y	0.6	0.15	85	0.000008
	C14	－	0.3	0.3	0.3	60	0.000005
	C15	－	0.2	0.2	0.2	40	0.000002
	C16	－	0.45	0.45	0.9	90	0.000036
	C17	－	0.4	0.4	0.4	80	0.000013
				小計	**7.4**		**0.000223**
床版03	C18	－	0.3	0.3	0.4	60	0.000007
	C19	－	0.7	0.7	0.4	140	0.000039
				小計	**0.8**		**0.000046**
				合計	**8.5**		**0.000284**

*補修対象ひび割れ幅　0.2mm＜W＜1.0mm　　床版

*注入深さ　式：ひび割れ深さ推定値＝200×ひび割れ幅

ただし、遊離石灰で閉塞しているひび割れは壁厚の1/2と仮定。

ひび割れ延長合計　8.50　＝　8.50　m

注入体積合計　0.000284　＝　0.000284　m3

ｂ）注入材（軟質形低粘度エポキシ樹脂系 比重γ=1.1）

W= 注入体積 × 比重 × ロス率 × 1000

W= 0.000284 × 1.1 × 1.15 × 1000 ＝ 0.36 kg

ｃ）シール材（エポキシ樹脂系　比重γ=1.7）

W= 注入延長（m） × シール幅（m） × シール厚 （m）×密度 × ロス率

W= 8.50 × 0.03 × 0.002 × 1.7 × 1.37 × 1000

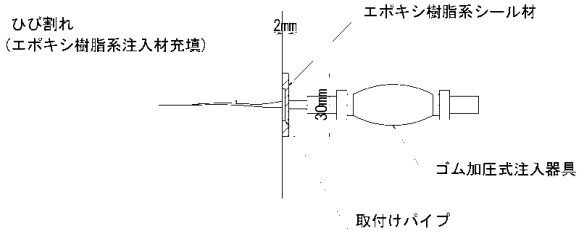
＝ 1.19 kg

d）低圧注入器（300mmピッチ）

N= 注入延長 / 0.30 m

N= 8.50 / 0.30 ＝ 29 本

ひびわれ注入詳細図



（2）断面修復工－左官工法

a) 集計表1

名称	番号	損傷名称	形状(mm)			箇所	周長(m)	面積(m2)	体積(m3)
			縦	横	深さ				
床版01	D01	剥離・鉄筋露出	750	200	30	1	1.90	0.207	0.0045
	D02	剥離・鉄筋露出	350	100	30	1	0.90	0.062	0.0011
	D03	剥離・鉄筋露出	350	250	30	1	1.20	0.124	0.0026
	D04	剥離・鉄筋露出	350	150	30	1	1.00	0.083	0.0016
	D05	剥離・鉄筋露出	1000	200	30	1	2.40	0.272	0.0060
	D06	剥離・鉄筋露出	200	250	30	1	0.90	0.077	0.0015
	D07	剥離・鉄筋露出	200	200	30	1	0.80	0.064	0.0012
	D08	剥離・鉄筋露出	200	550	30	1	1.50	0.155	0.0033
	D09	剥離・鉄筋露出	150	150	30	1	0.60	0.041	0.0007
	D10	剥離・鉄筋露出	200	100	30	1	0.60	0.038	0.0006
	D11	剥離・鉄筋露出	200	100	30	1	0.60	0.038	0.0006
	D12	剥離・鉄筋露出	150	300	30	1	0.90	0.072	0.0014
	D13	剥離・鉄筋露出	100	100	30	1	0.40	0.022	0.0003
	D14	剥離・鉄筋露出	100	100	30	1	0.40	0.022	0.0003
	D15	剥離・鉄筋露出	100	100	30	1	0.40	0.022	0.0003
	D16	剥離・鉄筋露出	180	200	30	1	0.76	0.059	0.0011
	D17	剥離・鉄筋露出	60	60	30	1	0.24	0.011	0.0001
	D18	剥離・鉄筋露出	100	200	30	1	0.60	0.038	0.0006
	D19	剥離・鉄筋露出	600	200	30	1	1.60	0.168	0.0036
	D20	うき	600	350	30	1	1.90	0.267	0.0063
							19.60	**1.842**	**0.0377**
床版02	D21	剥離・鉄筋露出	1000	150	30	1	2.30	0.219	0.0045
	D22	剥離・鉄筋露出	450	200	30	1	1.30	0.129	0.0027
	D23	剥離・鉄筋露出	150	150	30	1	0.60	0.041	0.0007
	D24	剥離・鉄筋露出	400	200	30	1	1.20	0.116	0.0024
	D25	剥離・鉄筋露出	1300	200	30	1	3.00	0.350	0.0078
	D26	うき	650	100	30	1	1.50	0.110	0.0020
	D27	剥離・鉄筋露出	300	20	30	1	0.64	0.025	0.0002
	D28	剥離・鉄筋露出	500	20	30	1	1.04	0.041	0.0003
	D29	剥離・鉄筋露出	250	20	30	1	0.54	0.021	0.0002
	D30	剥離・鉄筋露出	400	20	30	1	0.84	0.033	0.0002
						小計	**12.96**	**1.085**	**0.0210**
床版03	D31	剥離・鉄筋露出	1250	400	30	1	3.30	0.599	0.0150
	D32	剥離・鉄筋露出	150	150	30	1	0.60	0.041	0.0007
	D33	剥離・鉄筋露出	150	100	30	1	0.50	0.030	0.0005
	D34	剥離・鉄筋露出	150	200	30	1	0.70	0.051	0.0009
	D35	剥離・鉄筋露出	250	300	30	1	1.10	0.108	0.0023
	D36	剥離・鉄筋露出	150	300	30	1	0.90	0.072	0.0014
	D37	剥離・鉄筋露出	150	100	30	1	0.50	0.030	0.0005
	D38	剥離・鉄筋露出	100	100	30	1	0.40	0.022	0.0003
	D39	剥離・鉄筋露出	450	200	30	1	1.30	0.129	0.0027
	D40	うき	450	200	30	1	1.30	0.129	0.0027
	D41	剥離・鉄筋露出	300	200	30	1	1.00	0.090	0.0018
	D42	剥離・鉄筋露出	80	200	30	1	0.56	0.033	0.0005
	D43	剥離・鉄筋露出	200	150	30	1	0.70	0.051	0.0009
	D44	剥離・鉄筋露出	280	280	30	1	1.12	0.112	0.0024
	D45	剥離・鉄筋露出	70	70	30	1	0.28	0.013	0.0001
	D46	剥離・鉄筋露出	400	50	30	1	0.90	0.047	0.0006
						小計	**15.16**	**1.557**	**0.0333**
断面修復合計							**47.72**	**4.484**	**0.092**

a) 集計表2（m3）

断面修復工					
防錆処理あり			防錆処理なし		
床版01	床版02	床版03	床版01	床版02	床版03
0.0314	0.0190	0.0306	0.0063	0.0020	0.0027
0.0810			0.0110		
0.092					

b) 下地処理材（打継用プライマー）

床版01	＝					1.842	
床版02	＝					1.085	
床版03	＝					1.557	
ΣA	＝	1.842	＋	1.085	＋ 1.557	4.484	m2

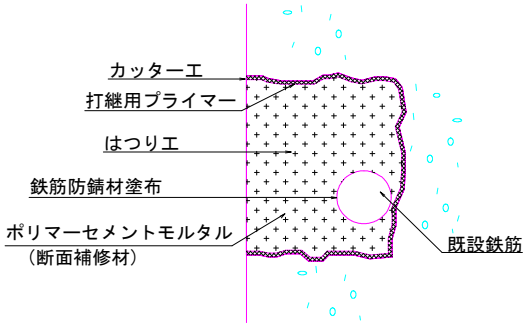
c) 断面修復材（ポリマーセメントモルタル）

床版01	＝					0.0377	
床版02	＝					0.0210	
床版03	＝					0.0333	
ΣV	＝	0.038	＋	0.021	＋ 0.033	0.0920	m3

d) 殻運搬・処分（無筋コンクリート）

V	＝			c ΣV		＝ 0.0920	m3
W	＝	0.0920	×	2.35	t/m3	＝ 0.2162	t

断面修復工詳細図



桁補修

（1）塗替え塗装工

ａ）塗装面積集計表

Rc- Ⅰ塗装系：主桁、横桁

塗装工程	塗料名	塗装面積
清掃・水洗い		80.383 m2
素地調整	1種ケレン	80.383 m2
防食下地	有機ジンクリッチペイント	80.383 m2
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗（2回）	80.383 m2
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	80.383 m2
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	80.383 m2

ｂ）面積計算表

部材	サイズ	設計塗装面積（m2）
主　桁		
主桁	698 × 300 × 20	69.014
	小計	69.014
横　桁		
端・中間横桁	300 × 90 × 12	10.920
ガセットプレート		0.208
ボルト	M22	0.241
	小計	11.369
	合計	**80.383**

c ）主桁

H形鋼　698×300×20	単位質量（kg/m）	塗装面積(m2/kg)
	182	0.014

※H形鋼（JIS G 3192　700×300準用）

主桁　　N=　　2

L=　　15.35

主桁番号	延長（m）	質量(kg)（kg）	設計塗装面積（m2）	備考
G1桁	15.350	2793.700	39.112	
G2桁	15.350	2793.700	39.112	
控除	0.30　× 30.700		-9.210	上フランジ上面
	30.700	5587.400	69.014	m2

d ）端・中間横桁

溝形鋼　300×90×12	単位質量（kg/m）	塗装面積(m2/kg)
	48.6	0.0186

※（JIS G 3192　300×90準用）

端・中間横桁　N=　　4

L=　　3.02

横桁番号	延長（m）	質量(kg)（kg）	設計塗装面積（m2）	備考
横桁　①	3.020	146.772	2.730	A1側端横桁
横桁　②	3.020	146.772	2.730	中間横桁
横桁　③	3.020	146.772	2.730	中間横桁
横桁　④	3.020	146.772	2.730	A2側端横桁
	12.080	587.088	10.920	m2

e）ガセットプレート（端横桁）

端横桁　　N=　　4

1箇所当たり

番号	計算式	塗装面積（m2）	備考
1	（0.228+0.08）×0.225/2	0.035	
2	0.15×0.225/2	0.017	
	1箇所当たり	0.052	m2

A　＝　0.052　×　　4　　＝　0.208 m2

f）ボルト

F10T　M22　　塗装面積（m2/1000本）＝　6.70

名　称	1個所当たりの本数	個所数	小計［本］
中間横桁	6	2	12
端横桁	12	2	24
		小計	36
		合計	36

1本当たりの塗装面積＝　6.70　/　1000　＝　0.0067 m2

設計塗装面積＝　0.0067　×　36　＝　0.2412 m2

排水装置補修

排水管取替工

（1）排水管撤去工

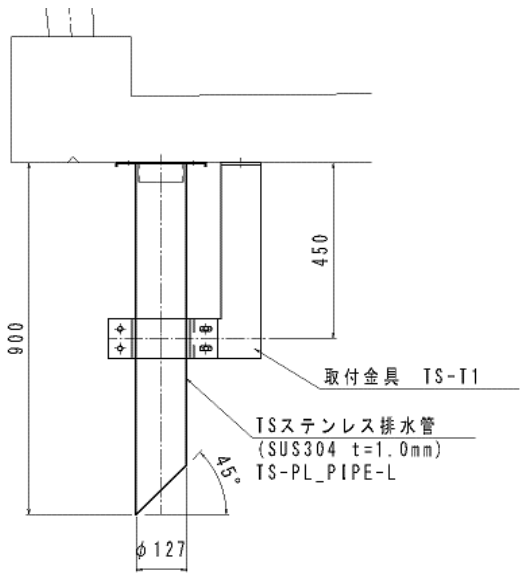
L=　　0.78　　×　　4　　=　　3.12　　m

（2）排水管設置工

排水装置補修　数量表

記号 規格		材質	単流水延長 （m）	単位	数量	流水延長計 （m）	備考
天板プレート一体型 排水装置		SUS304	0.900	本	4	3.600	ｼｰﾙ材,ｱﾝｶｰ含む
取付金具	TS-T1	SS400	－	組	4	－	B.N含む
					合計	3.600	

概要図



下部工補修

（1）ひび割れ補修工－注入工

ａ）集計表

補修位置	番号	壁厚	ひび割れ幅(mm)		ひび割れ	注入深さ	注入体積
		(mm)	範囲	中間値	延長(m)	(mm)	(m3)
A1橋台	C01	800	Y	0.6	0.2	400	0.000048
	C02	800	Y	0.6	0.7	400	0.000168
	C03	800	Y	0.6	0.15	400	0.000036
	C04	800	Y	0.6	0.3	400	0.000072
	C05	800	Y	0.6	0.5	400	0.000120
	C06	800	Y	0.6	0.45	400	0.000108
	C07	800	Y	0.6	0.5	400	0.000120
	C08	800	Y	0.6	0.6	400	0.000144
	C09	300	Y	0.6	0.5	150	0.000045
	C10	300	Y	0.6	0.25	150	0.000023
	C11	300	Y	0.6	0.4	150	0.000036
	C12	300	Y	0.6	0.4	150	0.000036
				小計	**4.95**		**0.000956**
A2橋台	C01	－	0.4	0.4	0.45	80	0.000014
	C02	－	0.35	0.35	0.2	70	0.000005
	C03	－	0.4	0.4	0.9	80	0.000029
	C04	－	0.4	0.4	0.5	80	0.000016
	C05	－	0.45	0.45	0.4	90	0.000016
	C06	－	0.65	0.65	0.35	130	0.000030
	C07	－	0.4	0.4	0.45	80	0.000014
	C08	300	Y	0.6	0.3	150	0.000027
	C09	800	Y	0.6	0.18	400	0.000043
	C10	－	0.6	0.6	0.8	120	0.000058
	C11	800	Y	0.6	0.45	400	0.000108
	C12	800	Y	0.6	0.5	400	0.000120
	C13	800	Y	0.6	0.3	400	0.000072
				小計	**5.78**		**0.000552**
				合計	**10.73**		**0.001508**

*補修対象ひび割れ幅　0.3mm＜W＜1.0mm　　下部工

ただし、遊離石灰で閉塞しているひび割れは0.6mmと仮定。

*注入深さ　式：ひび割れ深さ推定値＝200×ひび割れ幅

ただし、遊離石灰で閉塞しているひび割れは壁厚の1/2と仮定。

ひび割れ延長合計	10.73	＝	10.73	m
注入体積合計	0.001508	＝	0.001508	m3

b）注入材（軟質形低粘度エポキシ樹脂系 比重γ=1.1）

W=	注入体積	×	比重	×	ロス率	×	1000			
W1=	0.000956	×	1.1	×	1.15	×	1000	=	1.21	
W2=	0.000552	×	1.1	×	1.15	×	1000	=	0.7	
ΣW=	1.21	+	0.7					=	1.91	kg

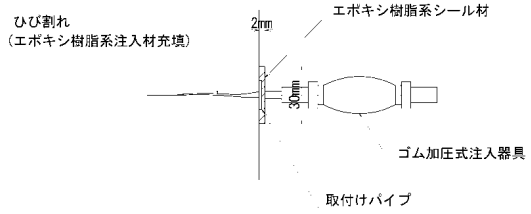
c）シール材（エポキシ樹脂系　比重γ=1.7）

W=	注入延長	×	シール幅	×	シール厚	×	比重	×	ロス率	×	1000	
W1=	4.95	×	0.03	×	0.002	×	1.7	×	1.37	×	1000	
									=		0.69	
W2=	5.78	×	0.03	×	0.002	×	1.7	×	1.37	×	1000	
									=		0.81	
ΣW=	0.69	+	0.81						=		1.50	kg

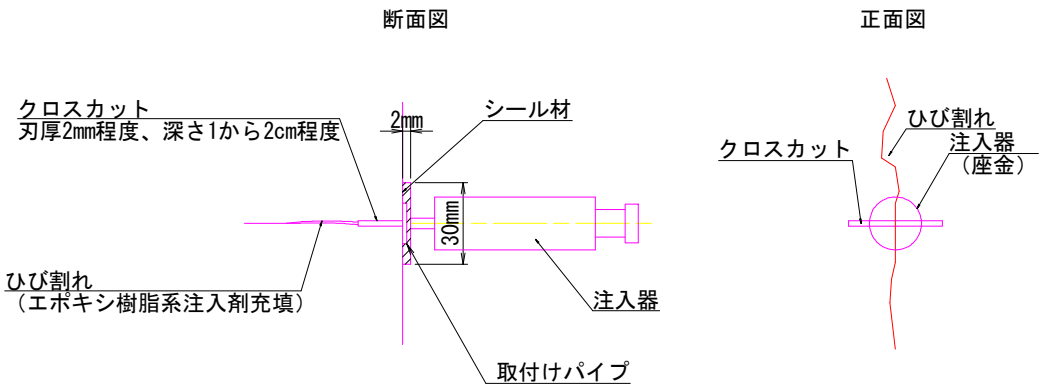
d）低圧注入器（300mmピッチ）

N=	注入延長 / 0.3 m					
N1=	4.95	/	0.30	=	17	
N2=	5.78	/	0.30	=	20	
ΣN=	17	+	20	=	37	本

ひびわれ注入詳細図



クロスカット工法



（２） ひびわれ補修工－充填工　（ひび割れ幅：1.0≦W）

1) 集計表

名称	番号	ひびわれ幅	ひびわれ延長	充填幅	充填深さ	充填体積
		(mm)	(m)	(mm)	(mm)	(m3)
A1橋台	J01	5.0	7.00	10	10	0.00070
小計			**7.00**			**0.00070**
A2橋台	J01	1.0	0.35	10	10	0.00004
	J02	2.0	0.45	10	10	0.00005
	J03	5.0	0.4	10	10	0.00004
	J04	1.0	0.35	10	10	0.00004
	J05	5.0	7.00	10	10	0.00070
小計			**8.55**			**0.00087**
合計			**15.55**			**0.00157**

2) 充填材（エポキシ樹脂系 比重γ=1.27）

W= 充填体積 × 比重 × ロス率 × 1000

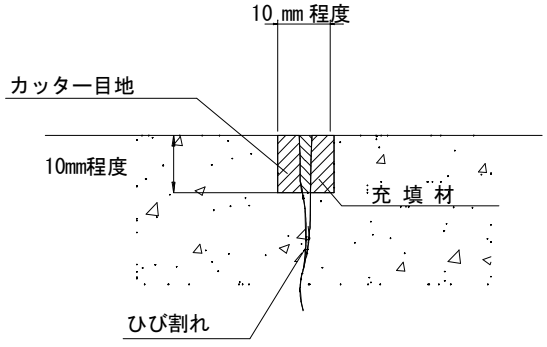
W1＝ 0.00070 × 1.27 × 1.2 × 1000 ＝ 1.067 kg
W2＝ 0.00087 × 1.27 × 1.2 × 1000 ＝ 1.326 kg

ΣW= 1.067 ＋ 1.326 ＝ 2.393 kg

3) 殻運搬・処分（無筋コンクリート）

V1 ＝ A1橋台充填体積 ＝ 0.00070 m3
W1 ＝ 0.00070 × 2.35 t/m3 ＝ 0.0016 t
V2 ＝ A2橋台充填体積 ＝ 0.00087 m3
W2 ＝ 0.00087 × 2.35 t/m3 ＝ 0.0020 t

ひびわれ充填詳細図



（3）断面修復工－左官工法

a）集計表

名称	番号	損傷名称	形状(mm)			箇所	周長(m)	面積(m2)	体積(m3)
			縦	横	深さ				
A1橋台	D01	剥離・鉄筋露出	500	1100	70	1	3.20	0.774	0.0385
	D02	剥離・鉄筋露出	100	1500	70	1	3.20	0.374	0.0105
	D03	剥離・鉄筋露出	300	740	100	1	2.08	0.430	0.0222
	D04	剥離・鉄筋露出	180	580	100	1	1.52	0.256	0.0104
	D05	剥離・鉄筋露出	110	500	100	1	1.22	0.177	0.0055
						小計	**11.22**	**2.011**	**0.0871**
A2橋台	D01	剥離・鉄筋露出	70	600	70	1	1.34	0.136	0.0029
	D02	剥離・鉄筋露出	50	450	70	1	1.00	0.093	0.0016
	D03	剥離・鉄筋露出	250	30	70	1	0.56	0.047	0.0005
	D04	剥離・鉄筋露出	60	600	70	1	1.32	0.128	0.0025
	D05	剥離・鉄筋露出	300	150	100	1	0.90	0.135	0.0045
						小計	**5.12**	**0.539**	**0.0120**
断面修復合計							**16.34**	**2.550**	**0.0991**

b）下地処理材（打継用プライマー）

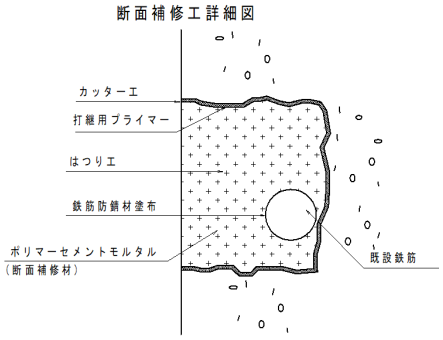
A1橋台 A1＝					2.011	m2
A2橋台 A2＝					0.539	m2
ΣA＝	2.011	＋	0.539		2.550	m2

c）断面修復材（ポリマーセメントモルタル）

A1橋台 V1＝					0.0871	m3
A2橋台 V2＝					0.0120	m3
ΣV＝	0.0871	＋	0.0120		0.0991	m3

d）殻運搬・処分（無筋コンクリート）

V1	＝		A1橋台Ｖ1		＝	0.0871	m3
W1	＝	0.0871	×	2.35 t/m3	＝	0.204685	t
V2	＝		A2橋台Ｖ2		＝	0.0120	m3
W2	＝	0.0120	×	2.35 t/m3	＝	0.0282	t



仮設工

(1) 大型どのう設置撤去工

大型どのう数量

$$N = \frac{\text{設置延長（L）}}{\text{土のう幅（W1.1m）}} \times \text{段数} \times \text{列数}$$

$$N = \frac{9}{1.1} \times 1 \times 2 = 16.36$$

$$N = 16.36 \fallingdotseq \underline{17} \text{ 袋}$$

(2) 中詰材

V ＝ 17 袋 × 1.0 m3 ＝ 17.0 m3

(3) 掘削

	L		W		H		
A ＝	5.60	×	4.30	×	1.00	＝	24.1 m23

(4) 仮排水施設

Φ1000　ポリエチレン管

	L	×	列		
L ＝	12.0	×	4	＝	48.0 m

(5) 足場工　(平坦足場)

	L		W		
A ＝	15.40	×	5.60	＝	86.2 m2

(6) ブラスト用養生シート　※PBC等有害物資を含む塗装のため

	L		W		
A ＝	15.4	×	5.60	＝	86.2 m2

(7) 塗装用養生シート　（シート張り防護：床面・両側朝顔）

	L		W		
A ＝	15.4	×	5.60	＝	86.2 m2

令和８年度国庫補助道路メンテナンス事業小横川橋補修工事

環境庁告示第13号埋立処分溶出試験25項目

溶出試験１

	項目
1	1.4-ジオキサン
2	アルキル水銀
3	総水銀
4	カドミウム
5	鉛
6	有機リン
7	六価クロム
8	砒素
9	シアン
10	PCB
11	チウラム
12	シマジン
13	チオベンカルプ
14	セレン

溶出試験２　11項目一式

	項目
1	トリクロロエチレン
2	テトラクロロエチレン
3	ジクロロメタン
4	四塩化炭素
5	1,2-ジクロロエタン
6	1,1-ジクロロエチレン
7	1,2-ジクロロエチレン
8	1,1,1-トリクロロエタン
9	1,1,2-トリクロロエタン
10	1,3-ジクロロプロペン
11	ベンゼン

●塗膜溶出試験

＝　溶出試験１＋検液作成料＋溶出試験２＋検液作成料